

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年 12月 22日

事業所名：オリオンあなせ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習・遊びのスペースの確保が出来ている。	はい:22名 わからない:1名	
	2 職員の適切な配置	設置基準の職員数確保が出来ている。送迎箇所により人数不足することがある。	はい:21名 わからない:2名	その日その日に合わせ職員配置をしていく。(個別対応など)
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関に段差・2階へは階段であるが手すりは設置している。室内はバリアフリーである。	はい:21名 わからない:2名	児童たちが分かりやすいよう空間を仕切る等、環境整備を進めている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃・消毒を実施している。活動に応じたスペース確保を心掛け、定期的に換気を実施している。	はい:21名 わからない:1名	現在行っている消毒や清掃を今後も継続して実施する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝の引継ぎ、予定確認、終礼と職員が話し合い確認する場面を設けている。		活動内容や処遇など相談する場面を継続して設け、業務改善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2022年1月14日受審。		10月～11月に保護者向けアンケートを実施、自己評価を含め業務改善に努める
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修などを取り入れ、研修の機会を多く取り入れるようにしている。		研修参加、他職員への伝達研修で内容の共有に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	送迎時等、保護者の方からお考えも聞き、できるだけ丁寧に計画作成するようにしている。また相談支援事業所と連携し情報を共有している。		日々の記録を取り、支援に生かすようにしている。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	プログラムはあるがその日の児童の状態により柔軟に対応している。必要に応じ活動を組み合わせている。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な内容を記載していないが、日々の記録をなるべく詳細に記載して保護者にも見てもらっている。		
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	送迎時に聞く事もあるが、面談を行い計画作成・見直しをしている。	はい:21名 どちらともいえない:1名	担当者会議などで得た情報を共有し支援に生かす。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月のプログラムはチーム内で意見を集め作成し固定化しないように、季節を感じられる内容を盛り込むようにしている。作成はチーム全体が周知できるようにしている。		書籍などを参考にし、個々の目標に合わせてプログラムを考えていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	放課後の短時間では難しいプログラムを土曜日や長期休暇、短縮授業時に取り組んでいる。	はい:22名 どちらともいえない:1名	今後もチーム全員で考え、また保護者などからの意見も取り入れて活動内容を考えていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	その日利用する利用者の顔ぶれから興味関心に合わせて考える。同じような活動が続かないよう振り返りを行う。		継続して実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	事前に計画をし朝礼時に打ち合わせを行い、その日の注意点・役割等を確認している。		継続して実施していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、送迎後にその日の支援・情報共有を行っている。休みの職員にも伝わるようグループラインで送るようにしている。		継続して実施していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回その日の情報、様子を記録、送迎時に聞いた家族からの情報も記録している。全員が閲覧出来るようにしている。		毎月保護者に印刷してお渡ししている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度、または必要に応じて評価を実施する。		継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者会議には児発管と職員が出席するようにしている。		今後も関係機関と連携を行っていく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校の行事や下校時間などの確認は基本的には保護者に行っているが、送迎時に担任に確認することも出来ている。また学校での様子等情報提供してもらっている。		下校時間に変動があったり、利用日の失念などもあるため、事業所・学校・事業所の情報共有を今後も継続して実施していく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	事業所での記録など、保護者の承諾を得て次の事業所に提供したり、相談員に伝える、必要に応じて直接職員が伝える場合もある。		今後も継続して実施していく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	オンライン研修等を受講するよう努めている。		研修会などの情報があれば積極的に参加出来る様にする。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	はい:3名 どちらともいえない:7名 いいえ:3名 わからない:10名	機会があれば実施してみたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施できていないが、積極的に出会った方には挨拶等を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に契約書、重要事項説明書など書面で説明し同意を得ている。また実費がかかる活動等は事前に許可をもらうようにしている。	はい: 23名	保護者からの質問にはその都度返答を行っている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示し口頭での説明を行っている。	はい: 22名	面談時だけでなく随時質問を受け付け答えるようにしている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは実施していない、電話や対面で日々の様子を共有し、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努めている。事業所が得た情報等も伝えるようにしている。	はい: 11名 どちらともいえない: 5名 いいえ: 3名 わからない: 4名	保護者が忌憚なく相談出来るような体制、雰囲気を作る。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やライン、送迎時に家庭での様子、施設での様子を共有できるようにしている。	はい: 23名	随時質問や疑問を受付、都度対応していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて話を聞き、保護者と情報を共有して家庭でも役立ててもらえるように努めている。	はい: 21名 どちらともいえない: 2名	随時、話を聞き必要に応じ面談を行う。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在実施していない。	はい: 3名 どちらともいえない: 8名 いいえ: 9名 わからない: 3名	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		はい: 15名 どちらともいえない: 2名 わからない: 6名	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	写真や文字、イラストを用いた非言語コミュニケーション方法(視覚支援)等、配慮している。	はい: 23名	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	法人の広報誌を発行、活動の様子等の動画・写真を保護者に送っている。	はい: 21名 分からない: 2名	今後も継続して実施していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護規定に基づき対応。また広報誌などに掲載する写真については予め保護者に掲載の許可を取っている。	はい: 21名 どちらともいえない: 1名 わからない: 1名	今後も取り扱いに気を付ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者への周知は行っていない。各種マニュアルを整備し適宜見直しを行う。	はい:15名 どちらともいえない:4名 わからない:3名	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を実施している。定期的に避難経路や脱出方法を確認する機会を設ける。	はい:12名 どちらともいえない:4名 わからない:3名	普段の活動に取り入れて検討していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	職員研修を実施。マニュアルを定期的に見直すようにする。		継続して実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施したことはなし。行う場合は手順マニュアルに沿って同意を得たうえで行う。		対象となる児童がいた場合、適切な対応
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から聞き取りを行い、おやつや調理実習では使わないようにしている。(検査はしていないがアレルギーのおそれのある食材も聞き対応している。)		継続して実施していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	報告書の作成、情報を共有している。		継続して実施していく。